

コルザ

コルザはフランス語で「菜の花」

2018
10月号
No. 399



目次

特集

リフレッシュツアー in ちば 2・3

ミニ特集

デポー新松戸リニューアルオープン 4

つくった人に会ってみよう♪ 5

活動ファイル 6・7

子どもたちに平和な未来を

フードバンク キックオフ集会

ワーカーズ・コレクティブ学習会

ブロック活動ファイル 8・9

リフレッシュツアー交流会

親子ミルク教室

デポーマルシェ・浦安バザール

親子ミルク教室

生産者コラボ企画

小学生マネーゲーム

千葉グループ & JFSA お知らせ 10・13

生活クラブ風の村

NPO クラブ VAIC-CCI

アーシアン JFSA

イベント・情報 14

夢風ニュース / 申込書 15

10月のデポー 16



リフレッシュツアー in ちば 2018

組合員の皆さんに8月理事会の報告をします。

1. 「新規片付け事業答申」を承認しました。答申に基づき組合員を対象に、10月より「遺品整理・家財片付け、引越しなどの不用品の処分」を中心とした新規片付け事業に取り組みます。

2. 社会的養護を必要とする子どもや若者への支援の輪を広げるため、12月1・2日に千葉市民文化センターで開催される「私

7月の組織報告 総供給高 744,659,366円

総組合員数 42,665人 (班 5,007人 個別 20,895人 デポー 11,886人 経済共済 4,877人)

たちは『買われた』展 in 千葉』への協賛を承認しました。

3. 11月1日に遺伝子組み換え講座「遺伝子操作をされた食べものってなあに? ~印鑰さんが語る 健康・環境への影響から最新技術まで~」を、モリシアホール(習志野市)で開催します。

4. せっけんの街「おれんじ」の原料となる、未使用食用油の回収を配達便とデポー店頭で行います。期間は9月10~21日です。

発行 / 生活クラブ虹の街 発行責任者 / 木村庸子 編集 / 組織部

虹の街 Facebook はこちらから→

〒261-0011 千葉市美浜区真砂 5-21-12 tel 043-278-7671 fax 043-279-7490 <http://chiba.seikatsuclub.coop/>

★本紙は古紙再生紙、ベジタブルインキを使用。



本部 043・278・7671/センター柏 04・7134・3801/センター千葉 043・278・7629/センター佐倉 043・461・7868
センター松戸 047・385・4646/センター市原 0436・60・1583/センターベイ 047・379・1540/デポー真砂 043・278・0112
デポーみつわ台 043・287・2414/デポー新松戸 047・348・1210/デポー大津ヶ丘 04・7191・7359/デポー松葉町 04・7134・0697
デポー浦安 047・353・0135/デポー木刈 0476・40・6811/デポー園生 043・290・0090/デポーおおたかの森 04・7155・5505

リフレッシュツアー in ちば 2018

2012年より、全国の生活クラブで東日本大震災の被災地への支援と交流を目的に、リフレッシュ企画が開催されています。生活クラブ虹の街は今年（7月31～8月3日）7回目のリフレッシュツアーを開催。生活クラブふくしまと栃木から5家族16人（子ども9人）が千葉県を訪れました。昨年に引き続き今回も参加された2家族。お子さんたちが成長しているようすに思わずにっこり。虹の街では、

実行委員会で準備をすすめ、本部の会場では理事や環境委員がウェルカムパーティで、おたかの森では柏ブロック運営委員会メンバーが、どちらも子どもと一緒に参加して交流しました。震災から7年を経過しても進展がみられない放射能問題など、組合員同士の交流を通して継続的な支援が今後も必要だと改めて認識しました。



はじめましてのウェルカムパーティ。消費材クイズで盛り上がりました。賞品はもちろん消費材。



3Lのすいかは、なかなか割れなくて、ついにお父さんたちも参加。ひとあせかいた後のすいかは格別！



特 集



スケジュール 

- 1日目 東京駅着、海浜幕張駅着、甲状腺検診（希望者、まくなり診療所）、千葉ポートタワー・アクアリンクちば、夕食ウェルカムパーティ（虹の街本部 地域交流スペース渚）、ホテル泊
- 2日目 新生酪農（株）（長生郡睦沢町）見学、龍宮城プール&スパ、ホテル泊
- 3日目 東京ディズニーシー、ホテル泊
- 4日目 生活クラブの森 おおたかの森地域交流スペース こだちにて交流会&昼食、柏駅→東京駅経由新幹線で帰路へ



新生酪農では、動画（学校給食の牛乳ができるまで）を見て工場見学。ノンホモ牛乳を使った「バターづくり」の実演と試食をしました。



… お話しのなかから …

- ・千葉のリフレッシュツアーに参加して、ディズニーシーに（入場料等は自費）行けて、子どもは大喜びです！
- ・小さな子（1・4歳）がいるので、（赤ちゃんの）異常出産のことなどをよく聞きます。食べものは、ご近所からいただいたものは悪いけど食べません。生活クラブの食材を食べるようにしています。
- ・じいじとばあばは、避難生活で体調が悪くなったので飯館村に帰りました。
- ・近所の高校生の女の子が2人も、子宮がんになったと聞きました。
- ・放射能やこういう話が、地元ではできないので話せて良かった。
- ・免疫力が落ちているのか、一時期子どものアトピーがひどくなったことがありましたので、食べものには気をつけています。
- ・モニタリングポストを撤去する動きがあるので、署名などに協力してほしい。



おおたかの森では、4月に開園した小規模保育を見たり、組合員活動について話したり、福島の現状について話を聞いたり。親どうし、子どもどうしに別れて親睦を深めました。



2-3 ページは、HP でカラーでご覧になれます。

リフレッシュツアーの収支報告 

2017 年度に実施したカンパの繰り越しは 9,733,776 円でした。
 今回のリフレッシュツアーの費用（交通費・交流会食費等）467,487 円は、カンパ金で賄われました。残金 506,289 円は、次年度以降のリフレッシュツアーの費用として繰り越します。

ミニ特集

祝 デポー新松戸リニューアルオープン

デポー新松戸がリニューアルオープンしました。8/24～26日リニューアルオープンまつりを開催。この3日間で65人が加入しました。紙面は初日のようすです。



小雨のばらつくなか、ハンドベル演奏でオープニングセレモニー開始。鏡開きは、左から小林章子店長、田端知江リニューアル委員長、(有)小島米菓の柳楽昌三専務、木村庸子理事長、片桐浩章専務。デポーリニューアル実行委員会と松戸ブロックメンバーのテープカットが行われました。



↑東珈琲(株)のいれ立てのコーヒーの良い香りが店内に漂います。手前では、東京カリント(株)の揚げたてドーナツの試食

↑(株)平田牧場：豚肉を手際良くさばき、「好きな量や厚みにオーダーカットしますよ!」



↑カットした豚肉の焼きたてを試食。おいしい! 揚げたてのドーナツもおいしいでしゅ(左) トマトやきゅうりの試食もおいしいよ!(右)



このページは、HPでカラーでご覧になれます。

ワーコレのお惣菜・お弁当も充実



↑鮮魚コーナーも充実。刺身や三枚おろし、お好みのかたちにさばぎます



リニューアルしたデポー新松戸へ、どうぞお越しください。お待ちしております!



ミニ特集



生産者コラボ企画 つくったひとに会ってみよう♪ おいしい発見!!

生産者との交流を通して、まだ生活クラブに加入していない方に楽しく生活クラブを知ってもらおう体験型の実産者コラボ企画です。

2018年春は、2回開催、8人の仲間が増えました。秋も企画を開催しています。お友だちを誘って、ぜひご参加ください!

組合員対象の通常の実産者交流会とは異なる、組合員外を対象にした「つくったひとに会ってみよう♪おいしい発見!!」。

食べる仲間を増やすことを目的に、体験型の食イベントを行い、楽しみながら消費材の良さを知ってもらうことをコンセプトに、ブロックごとに生産者の皆さんと相談・協力(コラボレーション)して企画しました。市販品との食べ比べや消費材を使ったランチなど、生活クラブの「おいしさ」を多くの方にアピールします。

秋のコラボ企画。皆さんもお気に入りの企画に、お友だちを誘ってぜひ参加してください!

お友だちが加入すると、お友だちとあなたに素敵な、おいしい、うれしい

プレゼント*を用意しています。

「なるほど!」な講座と、おいしいランチでお友だちと楽しいひと時を過ごしませんか?

*ブロックによってプレゼントの内容が若干異なります。

つくった人(生産者)	つくっているもの	開催日	会場	ブロック
私市醸造(株)*	酢	10/13	センター松戸	松戸
美勢商事(株)	餃子	11/2	未定(佐倉市内)	佐倉
日東珈琲(株)	コーヒー	11/6	千葉市生涯学習センター	千葉
美勢商事(株)	餃子	11/9	未定(木更津市内)	市原
コーミ(株)	トマトケチャップ	11/24	本部 地域交流スペース渚	千葉
(株)秋川牧園	鶏肉	11/29	センター柏	柏

*ブロック独自企画です。 *秋の企画の詳細は、HP・ブロック発行のちらし等をご覧ください。



松戸ブロック

おいしい餃子の話

6月14日、マンション「リノア新松戸」で、美勢商事(株)の利根川大吾さんを迎えて開催しました。参加者は、組合員15人、一般の方5人。

利根川さんから市販の安い餃子は、粒状大豆たん白と化学調味料(アミノ酸等)でかさ増しと味付けをしていること。これが餃子だけにとどまらないことを聞きました。市販品との食べ比べでは、その差がはっきりわかりました。

3種類の焼きたて餃子、W.Co 菜の花のお弁当など楽しいランチタイムを過ごし、この日3人が新しく仲間になりました。

佐倉ブロック

おいしい鶏肉の話

7月6日、そうふけ公民館(印西市)で、(株)秋川牧園の佐藤尚志さんを迎えて開催しました。参加者は、組合員18人、一般の方6人。

佐藤さんから丹精國鶏の特徴を聞き、NON-GMの餌・抗生物質や抗菌剤不使用・開放型鶏舎でのびのび大切に育てられていることを聞きました。

余剰部位(胸肉など)が加工品になっていることから、加工品の利用も大切だと思いました。チキンナゲットの市販品との食べ比べでは、おいしさの差が歴然。昼食は、丹精國鶏を使ったお弁当に舌鼓。5人が新しく仲間になりました。



活動ファイル

子どもたちに平和な未来を



8月10日、千葉駅前にある「パルひろば☆ちば」で、「子どもたちに平和な未来を2018」が開催されました。この企画は県内4生協（生活クラブ、コープみらい、パルシステム、なのはな）の合同企画で、平和の大切さと核兵器の廃絶について考え、各生協が交流することを目的に毎年開催されています。参加者は小学生から大学生の34人を含む84人でした。生活クラブも実行委員会から参加し、当日運営の一端を担いました。

今回のテーマは「平和のこと一緒に話そう!」ということで、子どもが主役になれる場をつくりました。全体の企画やグループ交流をとおして、平和の大切さを参加者自身が感じて、次に繋がることや行動してみたいことが発見できるような企画内容でした。

前半は、不二女子高等学校演劇部による朗読劇と、千葉県ユニセフ協会によるユニセフ学習会。朗読劇では、8月6日8時15分広島で、8月9日11時2分長崎でおきた惨状、被爆後の治療方法がなかったこと、被爆者への言われなき差別、原爆は絶対悪の兵器であること、そして、平和を願い核兵器廃絶のために闘っていることがヒバクシャの声として高校生によって語られました。

ユニセフ学習会では、今も世界で起きている子どもを巻き込む惨状について学びました。元・子ども兵士の描いた本の紹介から戦争について考えたり、地雷の模型を実際に触ってみたり、難民生活をしている女の子が平和への思いを語るDVDを観たりすることで、辛い思いをしている子どもが世界には

たくさんいることを知りました。

後半のグループ交流は、子どもと大人に分かれ、子どものグループには、千葉大学生協と東邦大学生協の学生委員がグループリーダーとして話をすすめました。アイスブレイクで「夏休みにやったこと」を出し合い、話しやすい雰囲気になってから、全体企画の感想や気付いたことなどを話し合いました。最後に模造紙にグループのまとめを書き出しました。「平和新聞」をつくったグループや、平和の繋がりを探したグループ、朗読劇やユニセフ学習会で発見したこと、戦争は起きてほしくないことをまとめたグループなど、それぞれ発表を行いました。

日常生活のなかで「平和」について改めて考える機会は多くはありません。



しかし、戦争ができる国になる「憲法改正」の可能性があるので日本の現状です。終戦記念日を目前に控えたこの時期に、大人も子どももとても貴重な時間になったと思います。理事 畔上久美

フードバンクキックオフ集会

8月31日、船橋市勤労市民センターにて、フードバンクちば いのちをつなごうキャンペーンのキックオフイベントが開催され、108人が参加（虹の街からは26人）しました。昨年よ

り始まったキャンペーンは、9月からスタートするフードドライブ（家庭などの余っている食品を集め、フードバンクに寄付する活動）に先駆けた集会で、目標に向かって取り組もうという生協の共同企画として今年度は、8つの生協を含む9団体が参加しました。

フードバンクの活動は、まだ食べられるのに、さまざまな理由で処分されてしまう食品を、食べ物に困っている人や施設に届けることなどで、世界に広がっています。



この日は、フードバンク山梨理事長、米山けい子さんの「からっぽの冷蔵庫～子どもの貧困とフードバンク～」と題した講演が行われました。

「命を支える食と心のきずなを届けようと、特に、子どもの貧困問題と向き合い、フードバンクの活動と結びました。学校を通じて手紙を出したことで、たくさんのお家と繋がり、食を届けることができ子どもの笑顔に繋がりました。子どもの貧困は見えにくいもので、7人に1人の子どもが貧困に苦しんでいるとの報告もあります」と米山さん。

シングルマザーの家庭の場合、お母さんが元気でも、小さい子がいれば、仕事から帰ってきてもゆっくりする時間などないでしょうし、子どもが病気になる場合もあり、安心して働くことは難しいと思います。そういったことに対する制度的な改善が必要ですが、



左から、フードバンクちば代表の菊地謙さん、千葉県県庁生活協同組合専務の鶴岡さん、なのはな生協理事の神田朋美さん、コープみらい理事の佐々木由佳さん、パルシステム千葉理事の小田育美さん、生活クラブ虹の街理事長の木村庸子さん、千葉県生協連専務理事の首藤英里子さん

活動ファイル

今日明日にはどうすることもできません。しかし、フードバンクならすぐに食品を届けることができます。さらに、手紙も添えているということで、直接気持ちが届けることができているのだな、と感じました。受け取った方は、きっと誰かと繋がっている、困った時は頼ってもいいんだなという安心感がうまれたと思います。丁寧な活動が、たくさんの人の繋がりを生み出していると感じました。

フードバンクちば代表の菊地謙さんは「フードドライブは、年間600万トンにも上る食品ロスの改善にも役立っています。缶詰め1つからできるボランティアと言われるように、たくさんの人が参加しやすい活動です」。

また、子ども食堂から始まったフードバンクふなばし(代表笹田明子さん)の設立が報告され、紹介されました。

生活クラブ虹の街も9月にフードドライブを実施。暮らしのなかでいろいろな活動に協力・参加していただけたらと思います。

福祉委員長 山本百合



当日のフードドライブは82.4Kg

ワーカーズ・コレクティブ学習会

9月7日、虹の街本部3階ホールでワーカーズ・コレクティブ学習会「ワーカーズ・コレクティブで働くこととは？」が開催されました。参加者は、虹の街の理事・運営委員・活動サポーター・事務局長など、ワーカーズ・コ

レクティブ(以下W.Co)からは各事業所から、総勢50人。

1部では、東京W.Co協同組合理事長・W.Co 凜理事長(デポー)の小柳智恵さんを招き、地域づくりを描く協同組合ワーカーズ・コレクティブ運動「理念と実践」について話を聞きました。

「生活クラブ東京が1968年に創立され、東京のW.Coは1984年に結成されました。組合員活動から社会活動へ展開していき、W.Coを含む生活クラブ運動グループの構成団体は100を超えます」。

「W.Coとは、地域に暮らす人たちが、地域にほしいものやサービスを非営利の市民事業として提供するために、全員が出資をして経営にかかわり、労働を担います。非営利といっても、持続可能なために利益は必要で、ボランティアとの違いでもあります。社会的企業・コミュニティビジネスといわれるものの1つです。その根底には、1980年のICA(国際協同組合同盟)モスクワ大会での、カナダの社会学者レイドロー博士の『西暦2000年における協同組合』での問題提起がありました。経済のグローバル化による雇用問題や過剰消費社会を見据えたもので、事業収入を優先するのではなく・協同組合の真の目的を考え・生協の組合員であること・相対的に小さな協同組合とした生活クラブの運動はW.Coへと繋がっていきました」と小柳さん。

「職住接近・地域のさまざまな要望に応える仕事・高齢になっても働き続けられるなど、全部がかなうのが、W.Coの魅力です。多くの人が健康で働くことが大切な、少子高齢化の背景があることを前提に、地域を構成するには、W.Coによる地域社会の再構成(社会的連帯経済)が必要だといえます」

「2016年ユネスコ無形文化遺産に

協同組合が登録されたことは、W.Coが実践していることが評価を得たということで、力をもらいました。今後も続けていきたい」と締めくくりました。



2部は、千葉県内のW.Coの事例紹介。W.Co千葉県連合会理事長の北田恵子さんが「W.Co千葉は、東京の2年後1986年に結成されました。現在、県内17事業所・13業種・37拠点、組合員数は約430人です」と進行。

受託部会担当理事の五十嵐紀子さんが配送W.Co(センター柏のワーカーズ・あい、センター松戸のW.Coみらい、センター千葉・市原・ベイ・佐倉のワーカーズ・結)について、東葛エリア担当理事の新谷美枝子さんは、デポーW.Co(9つのデポー・W.Co^{みき}樹)について、食担当理事の中島美樹さんはW.Coの食事業とめざす安全と環境について、福祉担当理事の鈴木二昧子さんは、環境問題から始まったW.CoのリサイクルショップとW.Coの生活支援サービスと街づくり・広がる地域福祉事業(リユース食器レンタル・葬祭サポート・お片づけ事業)について話しました。



左から、五十嵐さん、新谷さん、中島さん、鈴木さん

北田さんは「W.Co千葉ができて30年。やりがいをもってすすめてきました。わかりにくいW.Coですが、めざしているのは、暮らしやすい住みやすい街づくりです。社会を変える運動を持続させていくために事業としての責任を持ち、多くの仲間と互いに支え合い実践しているのがW.Coです。みんなと一緒に活動していきませんか?」と参加を呼びかけました。

コルザ 鈴木

ブロック活動ファイル

* QRコードで各ブロックのFacebookへ!



柏ブロック

リフレッシュツアー交流会

暑い日差しが照りつける8月3日、デポーおおたかの森地域交流スペースこだちにて、リフレッシュツアー(詳細2・3ページ)の交流会が行われました。ツアーの参加者4家族(大人5人、子ども6人、1家族は都合により帰宅)が来所され、環境委員や柏ブロックの参加者と合わせて、31人が集いました。

短時間でしたが、子どもたちは楽しい時間を共有でき、大人も貴重な話を聞くことができました。

原発事故がなかったことにされていること、話に出てこない、話に出せない、という現状であること。子育てをしていく上で、この先に、とても不安を感じていることなど、思いを聞きました。

原発事故の事実を消し去ろうとする風潮、被災した人たちが我慢するしかない状況、悲しくなりました。

今回初めて、被災された方の話を直接聞く機会を得ました。事故から7年が経過しましたが、改めて原発を稼働



させてはいけないと強く感じました。被災された方々が少しでも不安から解放され、安心して暮らせる日が早く訪れて欲しいと願います。

運営委員 舟橋洋子



松戸ブロック

親子ミルク教室

8月29日、センター松戸にて、「親子ミルク教室」を開催し、46人が参加。夏休みの親子企画ということもあり、キャンセル待ちが出るほどでした。

新生酪農(株)品質管理部部長の岩瀬尚哉さんを招いて、まずは、ノンホモ牛乳を使ったモッツァレラチーズ「サンモッツァ」づくりから。子ども達は岩瀬さんの近くでその作業を食い入るように見ていました。代表で母と子1人ずつが「サンモッツァ」をつくりました。次に、温州みかんジェラー

トと牛乳でスムージーづくり。子どもたちは混ぜるのもそこそこ?味見に大忙しの様子でした。生クリームでバターもつくりました。途中、新生酪農の工場の映像を見ながらの説明を聞き、まるで工場見学をしているようでした。搾乳からびんに詰められるまでのようすがとてもよくわかりました。

岩瀬さんの、「自分達が食べるものは自分達が食べることによって守られる、続いていく」という言葉が心に残りました。

最後はお楽しみのお試食タイム。サンモッツァをつくった後に残る液体(ホエイ)を入れたカレーライス。10倍!?もおいしくなるということで、子ども達はたくさんおかわりしていました。

おいしくて勉強にもなる企画と大好評でした。

運営委員 宮本順子



ベイブロック

デポーマルシェ・浦安バザール

9月8日、デポー浦安にて地域の皆さんに生活クラブを知ってもらうデポーマルシェ・浦安バザールを開催。多くの組合員でにぎわいました。

当日は、真塩や素精糖の生産者(株)青い海の伊集光博さんが来所し、組合員スタッフと共に消費材をアピールしました。沖縄のお菓子、サターアンダギーの揚げたてを試食に。材料の薄力粉・素精糖・たまご・なたね油などを混ぜ、なたね油で揚げます。「大きさは6cmくらいのボール形。このサ

イズが食べた時に周りがサクッと、なかがふんわりなんです」と伊集さん。試食した人も「素朴な味でとってもおいしい、家でもつくってみるわ」と大好評でした。

次は沖縄の肉料理で、丸一日真塩をまぶした豚バラブロック肉を水から1時間ほど煮た、すーちかー。ほどよい塩加減で、脂もおちておいしく食べられ、茹で汁はスープに。次は、これも沖縄の油みそ・あんだんすーづくりの実演。それを入れたおにぎりも試食に。

買い物に来た組合員は、試食しながら素精糖のこと、市販の砂糖や三温糖との違い、真塩と海水塩の特徴など、伊集さんの説明に聞き入っていました。

エントランスのキッズコーナーでは多くのお子さんが、輪投げ・スーパーボールすくいで楽しんでいました。

次回のバザールは11月17日(土)に開催します。

理事 神谷洋子



ブロック活動ファイル



千葉ブロック

親子ミルク教室

8月6日、デポー真砂地域交流スペース渚にて、新生酪農(株)の岩瀬尚哉さんによる、親子ミルク教室を開催しました。大人と子ども総勢38人。「牛乳がびん詰めされるまで」を工場のラインや酪農家での牛のようすなどの映像を見ながら説明を聞きました。

次は、ノンホモ牛乳に酢を加えてつくる、サンモッツアチーズ。やってみるととても簡単で楽しいので、「家でもつくってみます!」との声も。

続いて、バターづくり。生クリーム

の入ったびんをひたすらフリフリ!大人も子どももみんなでフリフリ!10分ほどすると、バターの完成。ここで塩を加えれば加塩バターになりますが、できたてのバターは、塩分がなくてもとてもおいしかったです。クラッカーやパンに塗って、贅沢に食べました。

そして、最後はパフェづくり。たまごパン、ゼリー、ヨーグルト、バナナ、ぶどう、生クリーム、アイスクリームをそれぞれが思い思いに盛り付け。

話を聞いたり、いろいろつくってみ



たりと盛りだくさんな内容で、夏休みの親子の充実したひとときになったようです。これからも生活クラブの牛乳をみんなでたくさん飲んでいきましょう!
理事 亘 麻美



佐倉ブロック

生産者コラボ企画

7月6日、そうふけ公民館(印西市)にて(株)秋川牧園生産者コラボ企画*を開催し6人の員外を含む24人が参加しました。

まずは「丹精國鶏」を塩・こしょうでシンプルに味付けした焼きたての試食からスタート。秋川牧園の佐藤尚志さんから丹精國鶏と市販の鶏肉との飼育方法や餌の違いなどを聞きました。

市販品と大きく違う点は、「自然光の鶏舎で55日以上時間をかけて飼育、餌はポストハーベスト(収穫後農薬)不

使用で無投薬飼育が原則、3世代前から国産というのは貴重です」と佐藤さん。

ランチタイムには、組合員特製の鶏ハムやデポー木刈惣菜部のお弁当を食べながら、生活クラブと市販品のチキンナゲットの食べ比べもしました。

「丹精國鶏」を味わい、心もお腹も満たされた後も、組合員同士の笑顔の絶えないおしゃべりは続き、とても和やかで楽しい企画となりました。

運営委員 伯ヶ部莉枝



*生産者コラボ企画:詳しくは5ページをご覧ください。



市原ブロック

小学生マネーゲーム

8月24日、センター市原にて、小学生マネーゲームを開催し10人が参加しました。

講師は、生活クラブFPの会の逆井芳子さん。「皆さんのお父さんお母さんはどんな仕事をしていますか?どうやってお金を稼いでくるのかな?」と導入で問いかけます。ゲームは男子・女子チームに分かれて会社をつくり、どちらがたくさんお金を稼ぐか競争です。資本金2,000円が渡され、必要な材料や道具を買い、会社で製品にし

て、買取センターで売り、利益を得ます。男子チームはバナナを量産。女子チームは折り紙の手裏剣づくりも上手です。材料がなくなったらまた仕入れて作業の繰り返し。おっとバナナがダブつき値崩れしました。時間がかかったけど高値で売れるトラックも完成!この頃にはチームワークもバッチリ和気あいあいの子どもたち。あと5分です!急げ~!働き方改革が叫ばれるこの頃、今から仕入れても間に合わないからもう休んで待とうぜ!という斬新



な意見にもビックリ。収支決算は両チームともバッチリ合い、儲けは女子チームが多かったけれど、給与分配では、少人数の男子チームが多い結果に。みんなお仕事頑張りました、仲良く引き分けです。お金がどうやって増えるのか分かったけど、働くのは大変だったね。帰ったらお家の人と仕事やお金についていろいろ話してみてね!
理事 西原和代



生活クラブ千葉グループは、県内の生活クラブ関連9団体の総合力で地域社会をより住みよく暮らしやすくするために社会問題の解決とコミュニティの再生に寄与します。

生活クラブ風の村

笑顔の食卓 生活クラブ風の村の食支援

あなたの尊厳を守ります。

【事業本部】佐倉市王子台 1-28-8 ちばぎん白井ビル4階

tel : 043-309-5811 fax : 043-460-8844

<http://www.kazenomura.jp/>

e-mail: info@kazenomura.jp



風の村では、「食の基本姿勢」「食支援の基本姿勢」を定め、身体と心の栄養が満たされるよう、「おいしく 楽しく 安心に」食事を提供することを目標としています。

私たち職員は献立を考え、買い物に行き、下ごしらえをし、調理をし、配膳し下膳するまで、食にかかわるすべての工程を食支援の場と考え、チームで利用者に関わります。一連の食支援を重要な生活リハビリの一つと捉え、介護職、医療職、管理栄養士・栄養士、調理員、相談員等がチームでアプローチします。

多職種が連携して個別栄養ケアマネジメントに取り組みます。そして、具体的・定量的な目標を定め、①残食ゼロ、②身体機能の維持、③利用者・家族満足度の向上などの取り組みを利用者・家族だけでなく地域の皆さんにも積極的にお知らせします。

利用者の「食べたい」という意欲を引き出し、その思いが叶うように、自分も食べたいと思う安心安全で、なじみのある食材を使い、生活の音がする、匂いがする「ふつうのごはん」をユニット*のキッチンでつくることもあります。

ある事業所では利用者が、野菜の皮むきをしてくださっています。家庭の台所のような野菜を切る音、お出汁の香りの湯気をたてた鍋、肉の焼ける香ばしい音…時には大好物のカレーの匂いかもしれません。

ユニットの食卓は今までの生活の香りや音で溢れます。当然、お腹が「ぐう」と鳴り、唾液の分泌も自然と良くなります。ご飯の盛り加減、味噌汁の温かさ、好みの目玉焼きの焼きぐあいなど、その人なりの「食べること」へのこだわりが、かかわりが深くなることによって、利用者が言葉にしなくても、自然と叶えられていたら…ユニットでの食事は、きっとどんな高級なレストランよりも居心地の良いものになるでしょう。1日に3度もある食事の時間がより一層待ち遠しくなります。

多職種の連携によってユニットにこの「笑顔の食卓」ができるのです。調理スタッフは「笑顔の食卓」を実現するために、味付けを検討したり、野菜の切り方にこだわったり、日々努力をしています。そして利用者の希望や介護職の提案等を、活きの湧く食事で表現できるように考えています。「笑顔の食卓」をつくるために食支援を頑張っていきます。

食支援スーパーバイザー 木下利枝子

ユニット：10人程度の少人数の生活グループの単位。共有スペースであるリビングや台所を囲むように各居室が配置されている。

生活クラブ千葉グループからのお知らせ

NPOクラブ

秋の企画に参加しませんか

市民のチカラをあつめる、つなぐ、高める、広げる。

【住所】 千葉市美浜区真砂 5-21-12
tel : 043-303-1688 fax : 043-303-1689
http://npoclub.com/
e-mail: npo-club@par.odn.ne.jp



(認定 NPO) ちば市民活動・市民事業
サポートクラブ



ハーバリウム体験教室

いま話題のインテリア「ハーバリウム」は、ガラスびんのなかにドライフラワーやプリザーブドフラワーなどを入れ、専用のオイルで満たしたものです。花の色や形が長い間維持できるのが特徴で、プレゼントにも好適です。福島市から千葉市に避難されている方を講師に、初めての方も一緒につくれる体験教室を開催します。

日 時: 10月15日(月) 13:30 ~ 15:30

会 場: 福島県県外避難者相談センター(ちば)

千葉市花見川区検見川町 3-159-2 おおなみこなみ内
(京成検見川駅徒歩 12 分)

講 師: 羽田典子さん

参加費: 1,000 円(材料費込み・飲物付き)

定 員: 20 人

申込み: 福島県県外避難者相談センター(ちば)

tel : 043-375-7148 (担当: 風間)

VAIC-CCI

八街で「あるる市」開催します。ぜひお越しください!

だれもが自分らしく安心して暮らせる地域に。

【事業本部】 千葉市稲毛区園生町 1107-7
tel : 043-290-8015 fax : 043-290-8016
http://www.vaic-cci.jp/
e-mail: info@vaic-cci.jp



(認定 NPO) VAICコミュニティケア研究所

私たちは、暮らしやすい地域づくりのために、ボランティア・子育て・障がい者・地域交流の支援、生活支援など、さまざまな事業に取り組んでいます。私たちは、一人ひとりの暮らしを大切にしています。



地域交流事業として 開催8年目を迎える「あるる市」
今年は これまでにない楽しい企画が盛りだくさんです!
いろいろなジャンルの作家さんや作品との出会い、
そして 体験にワクワクしてください。

日 時: 11月10日(土)・11日(日) 10:00 ~ 15:00
場 所: 喫茶アルルカン&風のロッジ
(東吉田 912-8) (東吉田 8-1)
問合せ: 喫茶アルルカン tel: 043-440-0191

「ちょっとやってみたい」をかなえるワークショップが充実!

★ワークショップ★

- 国産木使用の箸作り
- 木製のフクロウ&猫時計作り
- 寄せ植え教室
- 紅茶の入れ方教室
- 美文字アドバイスコーナー
- ハーバリウム作り
- 和菓子作り
- オーラソーマ
- タブレット PC 画
- アロマオイルトリートメント



ウクレレの
ミニライブ



雑貨・竹細工・
アクセサリなど
手作り品販売



八街特産品
を使ったランチ
や手作りケーキ
心もあなかも幸
せに!

2カ所を結ぶ
通称トトロの道に
お楽しみの仕掛
けあり!



アーシアン

毎日の暮らしに、フェアトレードを。

【事業本部】 千葉市美浜区真砂 5-21-12 1F
開所時間 13:00 ~ 16:00 (水・土・日・祝日休み)
tel & fax : 043-279-8665
http://www.jca.apc.org/earthian
e-mail: earthian93@jca.apc.org (NPO) 地球市民交流基金 EARTHIAN



入会案内

年会費：正会員（議決権あり）
支援会員 共に 6,000 円
*生活クラブ組合員は共同購入代金と同時
引き落とし（毎月 500 円）ができます。
連絡先：アーシアン事務所まで
tel : 043-279-8665

見て、触れて、選べます
秋のセンター展示会 10/20 から



*展示会の日程は 14 p をご覧ください。

アーシアンの今回の目玉は、2001 年より支援しているパキスタン・カラチのスラムにある学校「アル・カイルアカデミー」でつくられたエプロンとバンダナ。

生地は、校内で手織りしています。バンダナは 8 年生の男子生徒が、エプロンは手織り職人で生徒たちの機織りの先生が織りました。校内にある縫製工房で仕上げ、タグにはウルドゥー語で「アル・カイルアカデミー」の文字と女生徒の花の刺繍がついています。

他にも今まで千葉カタログで取り扱った商品を多数販売。「気にはなっただけど実際に見てみないとね」と思われた方は、ぜひ展示会に来て、フェアトレードの製品をご覧ください。

JVC 国際カレンダーは 2019 年で 30 周年を迎えます。タイトルは「この空の下で～ Sky doesn't know border～」。テーマは「多様性」です。空に国境はありません、文化や宗教が違うことをお互いに認め合い、一緒に笑いあえる社会でありたいと願います

アーシアンでは収益金を JVC（日本国際ボランティアセンター）のラオスの森林保全のプロジェクトに寄付します。

ご協力よろしくお願いたします。

- 壁掛け用：1,600 円
(サイズ 使用時 56 × 38.5cm)
- 卓上用：1,300 円 / 写真
(サイズ 17.8 × 16 × 底 7.5cm)

2019 JVC 国際カレンダー発売中!



*お買い求めは千葉事務所、アーシアンショップ柏、センター展示会また千葉カタログ(10・12月)でも取り組みがあります。

JFSA からのお知らせ

J F S A

古着や毛布がスラムの学校の自立運営を支えます。

【事務局】 千葉市中央区都町 3-14-10 〒260-0001
tel & fax : 043-234-1206 (9:00 ~ 19:30 木曜定休)
http://www.jfsa.jpn.org/
e-mail: jfsa@f3.dion.ne.jp



(NPO) 日本ファイバーリサイクル連帯協議会

JFSA 古着ショップ

10:30 ~ 19:00 (木曜定休)

JFSA に届いた衣類の 20% を販売しています。
リユース活動に、買うことでもご協力ください。
*駐車場あります。

千葉店 千葉市中央区都町 3-14-10
tel : 043-234-1206
柏店 kapre 柏市大室 176-1
tel : 04-7110-0984

古着などがアル・カイルアカデミーを支えるまで…。

少しでも役に立てばという想いから JFSA の活動は始まります



約 20%
国内販売



古着ショップやフリーマーケットで、利益は JFSA の活動を支える資金に



約 80%
パキスタンへ



卸販売。利益が学校の運営資金(先生の給料や教材費など)に。写真はキャンパス6の幼稚園クラス

センターで 250 種に選別

●ご協力ありがとうございます

2017 年度 (17 年 9 月 ~ 18 年 8 月) まで生活クラブ虹の街の組合員の皆さんから 28 トン 769.2 kg の衣類や毛布が寄せられました (全体で 101 トンに対し 28%)。たくさんのご協力、ありがとうございました。

●お友だちにもどうぞお伝えください

1987 年に 10 人の子どもたちから始めたアル・カイルアカデミーも、本校と分校 (7 校)・専門学校 (1 校) に約 4000 人の子どもたちが通う学校になりました。

学校がなかった地域にキャンパス 4 から 7 までの 4 校を建設。今は低学年のクラスまでしかありませんが来年度以降は高学年のクラスをつくる必要があります。そのための先生を新たに雇い、教室もつくります。

「良い教育には良い先生が必要です。良い先生とは、情熱をもって子どもたちに向き合うことができる先生です」とムザヒル校長は言います。

皆さまから寄せられた衣類を販売して得た収益は、先生の給料などになります。

お友だちにも、パキスタンで学ぶ機会を待っている子どもたちがいること、ご家庭に眠っている衣類や毛布やバッグがその助けとなることをどうぞお伝えください。

古着回収のお知らせ

古着や毛布・衣類・バッグ・ハンカチなどを回収します
回収品目は期間ごとに異なります。

★デポ回収：隔月で回収

11 月 29 日 (木) ~ 12 月 2 日 (日)

デポー浦安除く・詳細はデポーのちらしをご覧ください

★配達便での回収：1 週につき 1 袋まで

2019 年 1 月 14 日 (月) ~ 25 日 (金)

詳細は配布するちらしをご覧ください。

★JFSA (千葉・東葛) への送付：11 月 21 日まで

JFSA 千葉 (中央区都町) 日曜 13:00 ~ 17:00 は持込みも可
JFSA 東葛 (柏市大室) 期間中 13:00 ~ 17:00 *要予約

★イベントでの回収 (お近くの方はお持ち込みください)

11 月 18 日 (日) 10:00 ~ 15:00 ぽっぽの市

稲毛区稲毛海岸 (汽車ぽっぽ公園)

12 月 9 日 (日) 10:00 ~ 15:00 JFSA チャリティバザール

中央区都町 3-14-10 (JFSA 千葉センター)

★回収品目について

衣類・毛布・タオル・バッグなど

・すべての品目は、他のどなたかが再び利用します。

・シミ・汚れのないものをお願いします。

・特にたくさん集めたいもの

中古も可：毛布・タオル&ハンカチ類・男性半袖&タンクトップ・バッグ・ポーチ・財布類

新品のみ：エプロン・靴下・パジャマ・下着類 (以下は中古も可：ブラジャー・ガードル・ボディースーツ・ブリーフ・トランクス・半袖・ランニング)

・上記以外の品目は以下のサイトをご確認ください

http://www.jfsa.jpn.org/iruiinfo_iriguchi.html

JFSA は会員を募集しています (2018 年度 /18 年 10 月 ~ 19 年 9 月)

私たちと一緒にスラムに暮らす子どもたちの自立を支える JFSA の活動にご参加くださいますようお願いいたします。会員・支援メンバーの皆さんには年 3 回会報・回収案内と、年 1 回サポーターグッズをお送りします。

郵便振替口座番号：00160-7-444198 加入者名：JFSA

正会員：年会費 5,000 円 / 1 口

支援メンバー (賛助会員)：年会費 2,000 円 / 1 口

イベント・情報

「市民ファンド」説明会

10月28日(日) 10:00~12:30

会場: 幕張勤労市民プラザ

千葉市美浜区若葉 3-1-8 JR 海浜幕張徒歩 13 分

託児: あり (5 人先着順) 定員: 120 人

担当: 組織部 宮間 043-278-7172

*「市民ファンド」についてのご質問は (株) 自然エネルギー市民ファンド 03-6709-8316 へ

*詳しくは 10/1~配布のちらし・HP をご覧ください。

遺伝子操作をされた食べものってなあに?

印鑰さんが語る

~健康・環境への影響から最新技術まで~

遺伝子組み換え (GM) 食品を世界で一番多く食べているのは日本人! GM 問題では日本以外にもブラジルなど現地の民衆運動に関わり活動している印鑰智哉 (いんやくともや) さんに GM 技術やゲノム編集の問題点を聞きます。

11月1日(木) 10:00~12:30

会場: モリシアホール

習志野市谷津 1-16-1・JR 津田沼徒歩 5 分

担当: 組織部 宮間 043-278-7172

*詳しくは 10/1~配布のちらし・HP をご覧ください。

ブロック企画

葬儀学習会

終活 葬儀の今をお伝えします

10月26日(金) 10:30~12:30

デポー真砂 地域交流スペース渚

託児あり 定員 20 人

担当: 清松 043-278-7629

佐倉アグリフォーラム 2018 and

ユニバーサル農業フェスタ

10月27日(土) 9:00~14:00

御伊勢公園 (佐倉市) 京成臼井駅近く

担当: 宮野 043-461-7868

甘酒酵母で惣菜パン作り & 秋の集い

10月31日(水) 10:00~13:00

谷津コミュニティセンター1F 調理室(習志野市)

託児あり 定員 15 人 参加費 400 円

担当: 清松 043-278-7629

カモミールクッキング

ベジスイーツ de ハロウィンパーティ

10月31日(水) 10:00~13:00

センター松戸

託児あり 定員 10 人 参加費 500 円

担当: 鈴木 047-385-4646

おいしい秋の食卓

10月31日(水) 10:00~13:00

アミュゼ柏 (柏市柏 6-2-22 柏駅徒歩 7 分)

託児あり 参加費 300 円(ゲスト 500 円)

担当: 三宅 04-7134-3801

秋の集い

11月2日(金) 10:00~13:30

飯山満公民館 (船橋市)

託児あり 参加費 300 円

担当: 早川 047-379-1540

エコピカ & 秋の集い

11月2日(金) 10:00~12:30

センター松戸 託児あり

担当: 鈴木 047-385-4646

エネカフェ

11月2日(金) 10:30~13:00

センター松戸 託児あり

担当: 鈴木 047-385-4646

丸ごと調理

11月8日(木) 10:00~13:00

富岡公民館 (浦安市) 託児あり

担当: 早川 047-379-1540

秋の集い

11月12日(月) 10:30~13:30

中央公民館 (船橋市)

託児あり 参加費 500 円

担当: 早川 047-379-1540

アドラー流~ママは転んで強くなる~
子育てのゴールの見つけ方

11月20日(火) 10:15~12:15

四街道市文化センター

託児あり 定員 55 人 参加費 500 円

担当: 宮野 043-461-7868

協同組合 フェスティバル **無料**

11月11日(日) 10:00~15:00

千葉ポートパーク円形広場雨天中止

千葉市中央区中央港 1 千葉みなと駅徒歩 10 分

千葉県産農林水産物のアピールと販売、

飲食コーナーなど。戦隊ショーやライブ、

ミニ SL などを予定。

生活クラブ虹の街も、バターづくりや飲

み物販売・移動販売車で参加します。

問合わせ: 組織部 043-278-7172

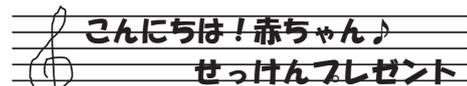
秋の展示会

10/20・21 センター市原

10/27・28 センター千葉

11/3・4 センター松戸

11/10・11 センター佐倉



せっけんを使うことで環境問題を考えるきっかけにしたいと、お母さんと赤ちゃんに、生活クラブのせっけんを贈ります。



Table with 2 columns: Name and Date. Lists birth dates for various individuals.

エネルギーカフェ



「生活クラブでんき」の紹介や電気のしくみなどの学習会です。お近くの会場へどうぞ! 申込・問合わせは、各ブロックのセンターへ

Table with 3 columns: Date/Time, Block, Location. Lists event details for Energy Cafe.

*イベント等の詳細は、各企画の担当まで。各ブロックのセンター・デポーへの問い合わせ (電話番号) は表紙下にあります。

夢風ニュース&申込書



ひらいずみ
(株) 飛良泉本舗の酒米圃場見学

夢風ブランドの「純米大吟醸 夢風」の酒米圃場を見学しました。

飛良泉の杜氏の遠田嘉人さんは、春から夏は農家として酒米を栽培しています。6月29日、連携推進協議会の生活クラブメンバーで、遠田さんの圃場を見学しました。圃場は、にかほ市水沢地区のさらに上の山間部にあります。あいにくの雨模様でしたが晴れば遠くに男鹿半島が見渡せるとのこと。「上流なので、水はとともきれいで、寒暖差も大きく、おいしいお米がとれる場所です。米は余っているのに、なぜ、こんな山奥の小さな田んぼまで耕すのかと言われるけれど、一度やめ

れば田んぼはすぐに林になり、もう戻せなくなってしまうので、作付けを続けています」と遠田さん(写真)。



実際に、田んぼの上の方では、以前は他の農家の田んぼだったところが林になっていました。

お米の品種は、秋田酒こまち。今のところ順調に育っているとのこと。どんな夢風酒になるのか、楽しみです。

省エネ講座 親子で自然エネルギーの工作

生活クラブのエネルギー政策、エネルギーを「減らす、つくる、つかう」。なかでも省エネは最も大切です。(株)生活クラブエナジーでは、生活クラブでんきの小売り事業と省エネ講座を実施しています。講座のなかでも、夏休みは「親子で自然エネルギーの工作」が人気で、各地域の生活クラブで行わ

れています。

7月23日、生活クラブ千葉デポーおたかの森で省エネ講座が行われ、ペットボトルを使って風車をつくり、風の力で電気がつくれることを、親子で学びました。羽根が良く回ると発電して赤いLEDライトがつくしかけて、羽根の厚さや長さ・向きなどによって、回り方が違います。子どもたちは、一生懸命に羽根のかたちを工夫したり、必死に団扇であおいだりしていました。自然の力で、電気をつくることは大変だけれども「できる!」ということを楽しく学び、講座は大成功でした。

また、省エネ紙芝居では、冷蔵庫は開ける前に何を出すか考えてから、照明はつけっぱなしにしない、など自分のできることを考えました。

風車の発電実績

6月の発電量...224,714kWh

7月の発電量...102,149 kWh

*夢風ニュース vol.73、vol.74 より抜粋。全文は生活クラブ虹の街 HP で公開中です。

コルザ 10 月号

申込書・申請書

配達時または、デポーフロアに提出して下さい。

組合員氏名		組合員番号		申込締切
参加希望に○	10/28「市民ファンド」説明会	同伴者()人 お名前		10/19
	11/1 遺伝子操作をされた食べものってなあに?	同伴者()人 お名前		
託児(ひらがなで)	なまえ / (男・女) 才 ヵ月 アレルギー(有・無)			
	なまえ / (男・女) 才 ヵ月 アレルギー(有・無)			
こんにちは! 赤ちゃん♪せっけんプレゼント 申請 (太枠の組合員氏名と番号を記入してください)				
赤ちゃんのなまえ	ふりがな	赤ちゃんの生年月	20 年 月生まれ	1歳の誕生日の前日までに申請
	(男・女)			
『コルザ』に掲載してもよろしいですか。(はい・いいえ)				

*説明会の企画については担当へ、「市民ファンド」についてのご質問は(株)自然エネルギー市民ファンド 03-6709-8316 へお願いします。

*せっけんプレゼント希望の方は、申請書に必要事項を記入して提出してください。対象は組合員のお子さんと、1歳未満の赤ちゃん。1歳の誕生日の前日までに申請してください。

*いただいた個人情報は適切に管理し、目的以外には使用しません。

*企画参加希望で詳細を知りたい方は、担当までご連絡ください。

本部署 市民ファンド・遺伝子操作 / 組織部 宮間

事務局記入欄 センター/デポー()、配達コース()-()



10月のデポー



イベント案内

デポーのお休み
11月は11日



メールマガジン
あなたの携帯にデポーの情報が届きます
登録受付中

日	月	火	水	木	金	土
7	8	9	10	11 黒豚の日	12	13
消費材紹介キャンペーン① (～10/13)			マルハニチロウィーク (～13)		秋の食卓フェア	
14 お休み (次月は11/11)	15 ビジョンフードの日	16	17	18	19	20
消費材紹介キャンペーン② (～10/21)			千葉県漁連ウィーク (～21)		ほうきね牛入荷 デポーまつり	
21	22	23	24	25 平牧金華豚の日	26	27
消費材紹介キャンペーン③ (～10/28)			プレスオールターナティブ・ワークス歩ウィーク (～31)		ハロウィンフェア	
28 日曜日	29	30	31	10月の生まぐる解体 *水揚げがない場合は 冷凍まぐろが入荷		
消費材紹介キャンペーン④ (～11/4)			10/13 木刈・/19 松葉町・ /20 園生・/27 大津ヶ丘			

消費材紹介キャンペーン① (10/8～13) 週替わりのおすすめ

牛乳たっぷり加糖ヨーグルト・あじ開き3枚 10% off

マルハニチロウィーク (10/8～13)
おさかなソーセージや焼売などでおなじみのマルハニチロをご紹介します。

秋の食卓フェア (10/12.13) 秋の食卓を彩る旬の食材をご紹介します。
平牧三元豚のバラ薄切り・ロース薄切り・
ポン酢しょうゆ(ゆず) など 5% off

ビジョンフード牛乳の日 (10/15) 10月のテーマは「牛乳」。
生活クラブの牛乳の特徴やおいしい使い方などを試食と共にご紹介。

消費材紹介キャンペーン② (10/15～21) 週替わり
味わいさっぱり加糖ヨーグルト・トマトケチャップ
餃子・たのめの里森が育てた天然水2ℓ 10% off

千葉県漁連ウィーク (10/15～21)
魚介の缶詰や冷凍惣菜などでおなじみの千葉県漁連とその消費材をご紹介します。

消費材紹介キャンペーン③ (10/23～29) 週替わり
プレーンヨーグルト・焼売・なたね油角缶・
たのめの里森が育てた天然水500ml 10% off

プレスオールターナティブ・ワークス歩ウィーク (10/22～31)
フェアトレード品のプレスオールターナティブとクッキーで
おなじみのワークスコレクティブ歩をご紹介します。 5% off
それぞれのすすめ品

ハロウィンフェア (10/26・27) 10/31はハロウィン
鶏肉モモ・鶏肉ムネ・かぼちゃポーロ・
かぼちゃアイス・国産果汁のグミミックスなど 5% off

消費材紹介キャンペーン④ (10/29～11/4) 週替わり
飲むヨーグルト・おとうふ揚げ・
丸大豆醤油900ml・ホットケーキミックス 10% off

オルターフェーズウィーク (10/29～11/4)
中華まんじゅうのオルターフェーズとその消費材をご紹介します。

生活クラブデポーまつり

人気消費材の生産者に直接会えるおまつり。来所生産者のおすすめ1品目が当日限り5%引に! 県内野菜生産者が野菜とっしょに登場するデポーも。ワコーレのお惣菜も入荷。試食いろいろ。

お友だちとっしょにどうぞ。2日間ポイント2倍!

デポー	10/19	10/20
真砂	黒姫和漢薬研究所 東京かりんと	こめ屋 私市醸造
浦安	角谷文次郎商店(三河みりん) 和高スパイス	米澤製油 AIC(野菜)
みつわ台	宮島醤油フレーバー オルタトレードジャパン(えび)	ヴィボン さんぶ野菜ネットワーク
新松戸	片山(蔵の素) 農法の会(野菜)	マルモ青木味噌 月山パイロットファーム
大津ヶ丘	千葉県漁連 ベストアメニティ(もち麦)	平田牧場(豚肉) 立野園芸出荷組合(野菜)
松葉町	藤原食品 日東珈琲	田中製餡 村悟空(野菜)
木刈	平田牧場(豚肉) 県内提携生産者(野菜) 予定	井筒屋 タイハイ
園生	王隠堂 マルハニチロ	全農たまご(健康食品) 新生わたらい茶
おたかの森	AIC(たまご) 井筒屋	黒姫和漢薬研究所 こまつ製菓

日曜日 (10/22)
・ジュース類は特別箱値引き通常の箱値引きよりさらにお得
・日曜青果市で季節の野菜果物もお得!
レシピ提案: 白菜と春雨の豚肉スープ
豚ひき肉・中国はるさめ 5% off

ポイント実施中! デポーカードの提示でポイントがつきます。500ポイントで500円のクーポン券発行。カードは班・個別配送の方もつくれます。

* 2018年9月13日作成 イベントや入荷予定、試食の内容などは変更になることもあります。